

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	尾三地区自治体間連携推進会議事務局		代表者名	加藤正純
担当者部署	市長公室		連絡先電話番号	0561-56-0600
担当者役職	主事	担当者氏名	高橋実希	連絡先E-mail
住所	480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60番地1			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	内容がわかりやすく、かつ、おもしろかったため。 「住民目線で作る自治体DXについて」依頼したところ、10年後の行政窓口がVRに変わるという話があった。10年前のiPhone誕生の際には予想しえなかったという進化の例がわかりやすく、情報部門ではなく、今回受講の対象が企画部門がメインであるので、とっかかりやすくお願いしたい等の要望に対応していただけたため。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月27日	14時00分	15時30分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企画部門2名、情報部門2名	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DX推進という情報部門のイメージが定着していること。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	新たな行政サービスのデザインという意識で組織全体へ考えを浸透させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	11/11(木)実施する講演会のための内容・形式等確認	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	2時間の講演で、4市町50名程度の参加者を想定した講演等の進行確認	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	構成市町でDX推進の状況は異なっているため、個々の問題解決という研究・成果をあげるという目的ではなく、導入のための意識付けをすること。 DXの推進計画の説明というよりは、今後求められる、リアルタイムに完結できる行政サービスのデザインについて知ること。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 構成市町の足並みが違う状況でアンケートを実施し、講演内で回答してもらうことよりも、アドバイザーの説明が魅力的で、講演の方が今回求める成果を得られると考えたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

